



<学校だより>

七葉松



第1号

平成30年4月27日
新発田市立七葉中学校

「相手に伝わる声」を出せる生徒に

校長 久保 英典

4月6日(金)、47名の新生を迎え(2年生41名、3年生53名、全校生徒141名)、平成30年度七葉中学校の教育活動がスタートしました。始業式から約1ヶ月。どの学年の授業も落ち着いた雰囲気、生徒が真剣に学習に取り組む姿が見られます。集会時の整列は見事で、開始時刻の5分前には整列が完了しています。すべての場面で雰囲気を作り、行動でリードしてくれているのが3年生です。3年生が範を示し、それを見た1・2年生が学び、行動に移すという流れが今後も継続していくことを期待しています。

新年度のスタートにあたり、始業式、入学式において「目指す学校の姿」を以下のように生徒に話しました。

☆目指す学校の姿

生徒にとって、教職員にとって、
保護者、地域の皆さんにとって、

「誇り」となる学校

「全国大会に出場した、七葉中が一番になった」など、結果によってうまれる誇りもあるが、「全校で〇〇に取り組んでいる」とか「私たちのクラス(部活動)は〇〇を大切にしている」等、みんなで頑張った取組や姿を「誇り」にできる学校でありたい。

<具体的な姿として>

- ①安心して生活できる学校 ~生徒一人一人に居場所がある学級、学年、学校~
- ②みんなで目標に向かって全力で取り組んで、終わったあとに感動のある学校
- ③頑張っている人を応援でき、「ありがとう」の声にあふれる学校

上記の「目指す学校の姿」は昨年度と同じ内容です。今年度はこれに加えて、「相手に伝わる声を出す」ことを頑張っていこうと話しました。

七葉中学校の生徒は、真面目でよく働き、自分の役割をきちんと果たせる、優しく朗らかで仲間と協力できるという「よさ」をもっています。反面、恥ずかしがり屋で、なかなか声を出せない、自分からという積極性に乏しいという課題があるように思います。

職場体験(現3年生が昨年度実施)後の自己評価で、多くの生徒が「大きな声で返事やあいさつをすること」「自分から積極的に行動したり、話したりすること」「もっと上手にコミュニケーションをとれるようになること」を課題にあげていました。

そこで、今年度教育活動のあらゆる場面(朝のあいさつ、授業の開始・終了のあいさつ、授業時の音読や発言の声、集会時の校歌の声や返事など)において、「相手に伝わる声を出す」ことを重点に指導・支援していきます。ぜひ、ご家庭、地域においても、生徒の様子を御覧いただき、お声がけいただければ幸いです。

今年度も七葉中学校の教育活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

